

たかまつ市議会 レポート

REPORT

平成24(2012)年7月15日発行(第157号)

● 高松市議会ホームページ ●

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/655.html>

市民プール リニューアルオープン

7月1日に、市民プールがリニューアルオープンしました。瀬戸内国際芸術祭2013の一環としてアートの要素を取り入れ、プール全体を海中に見立てたデザインとなっています。



平成24年
6月定例会

夏号

目次

- 代表質問 …… 2～4
- 一般質問ほか …… 5～7
- 情報BOX …… 8

定例会の日程

- 6月11日 開会・提案説明
- 14・15日 代表質問
- 18・19日 一般質問
- 20日 一般質問・特別委員会審査
- 21日 常任委員会審査
- 25日 委員長報告・討論・採決・閉会

今定例会で決まった主な内容

- 補正予算
〔市長提出議案〕
 - ▽地域住民の自主的なコミュニティ活動の促進を図るため、コミュニティ活動に必要な備品の整備等に助成するための予算
 - ▽今夏の電力需給見通しを踏まえ、市民への節電啓発事業等を行うための予算
 - ▽介護保険法の改正により創設された複合型サービス等への事業者の参入を促進するための予算
 - ▽瀬戸内国際芸術祭2013に向けた準備を進めるための予算
 - ▽高松市危機管理センター（仮称）等の整備に当たり、地質予備調査を行うための予算
- 条例
 - ▽高松市平和公園の墓所使用料の額を改定するための条例改正
 - ▽埋蔵されている文化財の保存及び活用を目的とした高松市埋蔵文化財センターを設置するための条例制定
 - ▽創造都市の実現に向けた総合的かつ基本的な指針等を調査審議する審議会を設置するための条例制定

平成24年第3回高松市議会定例会は、6月11日から6月25日までの15日間の日程で開かれました。
今定例会では、平成24年度一般会計補正予算など24議案を可決しました。また、前定例会で継続審査としていた陳情1件を、さらに継続審査としたほか、人事案件1件に同意しました。

代表質問

各会派を代表して、岡下勝彦（同志会）・岡野朱里子（柿ヶ紙）・竹内俊彦（公明党）の3人の議員が質問しました。

質問の主な内容

岡下勝彦議員（同志会）
政治姿勢・行財政改革・まちづくり・創造都市・防災・福祉・上下水道事業・教育

岡野朱里子議員（柿ヶ紙）
地方分権一括法・マンシヨンの防災対策・下水道整備計画・財政と政治姿勢・高齢者福祉施策など

竹内俊彦議員（公明党）
地域主権改革・3ワクチン定期接種化・決算見込みと今後の財政運営・防災減災対策・小中連携教育など

政治姿勢

職員の不祥事

職員倫理条例の制定を検討するなど組織が一丸となつて不祥事根絶に取り組む

市営住宅内の樹木伐採等工事において、本市の発注が3年間、特定事業者に集中していた事件について、庁内の調査委員会から、不必要な工事が約3割を占め、金額も適正でないとの中間報告が示されました。

質問 この事件は、職場内の相談・連携体制が構築できていないことにも問題があるが、今後の再発防止策は。【同志会】

昨年7月に作成した不祥事撲滅推進プログラムが機能していなかったことが露呈した。不祥事のさらなる再発防止に向けた取り組みは。【柿ヶ紙】

不祥事撲滅推進プログラムの課題を説明し、真に抜本的な再発防止策とすべきだが、対応は。【公明党】



答 各職場での取り組み姿勢などに問題があったため、同プログラムの実施が徹底されなかった。今後、リスクマネジメント会議の定期的開催を義務付ける等、真に効果ある実践を徹底する。

さらに、職場内の協力体制の強化等を図るとともに、公益通報制度の拡充も行うなど、職場風土の改善に努めるほか、特例的な財務処理適用の厳格化など、徹底かつ実効性のある対策を早急に講じる。

また、市民に本市の固い決意を示すため、職員倫理条例の制定を検討するなど、組織が一丸となって不祥事の根絶に取り組む。

まちづくり

国際会議や国際的イベント誘致により交流人口増加とブランド力向上に努める

質問 国際会議やイベントの開催は、知名度の向上や地域経済への波及効果など、本市のブランド力向上に大変効果的であることから、積極的に誘致する考えは。【同志会】

今年度の秋には、国際会議である「みな

答 今年度の秋には、国際会議である「みな

みまぐる保存委員会」の本市での開催が決定しているほか、2年後に日本で開催予定の「日仏自治体交流会議」を、ぜひとも誘致したいと考えている。今後とも、さまざまな国際会議や国際的なイベントの誘致に取り組む、交流人口の増加と本市のブランド力の向上に努める。



前回の日仏自治体交流会議の様子

コンパクト・エコシティ推進計画
ワーキンググループからの提言等を可能な限り反映

本市は支所や鉄道駅周辺などの集約拠点への都市機能の集積と、市街地の拡大抑制による「多核連携型コンパクト・エコシティ」の実現に取り組んでいます。

質問 今年度秋を目前に策定を進めてい

るコンパクト・エコシティ推進計画に市民意識調査の結果とワーキンググループからの提言をどう反映するのか。【柿ヶ紙】

答 意識調査で市民から寄せられた多くの回答や、ワーキンググループから頂いた将来のまちづくりについての熱意とアイデア溢れる多数の提言については、今後、可能な限り推進計画に反映する。

支所・出張所を総合センター（仮称）と地区センター（仮称）に移行

質問 今後の支所・出張所のあり方では、市民サービス向上のため、可能な限り権限と機能を充実させるべきだが、基本的な考え方は。【同志会】

答 現在の本庁と支所・出張所という2層構造を本庁・総合センター（仮称）・地区センター（仮称）の3層構造とする基本構想案の策定を進めており、総合センターには地域住民の福祉や利便性の向上につながる行政サービスを中心に機能や権限を拡充する。

また、全市を7つの所管区域に分け、本庁も含め、各区域に総合センターを置

くとともに、残りの22支所出張所は地区センターに移行することとしており、平成28年度を目途に進める。

県農業試験場跡地北側エリア及び仏生山駅前広場
将来を見据えた交通結節機能拠点として整備

質問 県農業試験場跡地北側エリア及びことでん仏生山駅前広場は、今後の人口減少・超高齢社会に対応するため、一体的に整備し、本市南部地域の公共交通網の構築につなげる必要があると考えるがどうか。
【同志会】

回答 総合都市交通計画では、同駅周辺を交通結節機能の強化が特に必要である重要整備拠点と位置付けていることから、同エリアや同駅前広場を、本市南部地域の通勤者等における交通結節機能拠点として整備し、バス路線を再編するなど、利便性の高い公共交通網の構築に取り組む。



防災

危機管理センター（仮称）
は堅牢性を備えたものにする

質問 平成30年度に完成予定の危機管理センター（仮称）は、災害対策本部機能などを備えた施設とのことだが、整備に当たっては、災害対応の中心施設として十分な堅牢性を備えたものとする考えは。
【同志会】

回答 同センターの基本構想原案では、耐震性に優れた免震構造を採用するほか、非常用発電設備などのバックアップ設備を備えることとしている。浸水被害に対しては、今後、国や県から示される被害想定を踏まえ、重要施設の配置階等を十分検討し、堅牢性を確保なものにする。

マンションの防災対策
自主防災組織の結成などを促進し住民の防災意識の向上を図る

質問 マンションで暮らす住民の割合が高い地域では、防災組織の結成において、マンション住民と地域との連携が不可欠であると考えますが、マンション住民が、自主防災組織に加入するための方策は。
【市（市民）】

回答 今年度から、既存の自主防災組織や地域コミュニティ協議会等と



橋梁の点検の様子

連携しながら、マンションの管理会社などに直接職員が出向き、自主防災組織の結成や加入を促しており、あわせて、住民の防災意識の向上を図るための周知啓発活動も積極的に展開する。

質問 道路や港湾岸壁の低下が指摘されており、本市では、その対策として土木施設関連の各種長寿命化計画の策定や、建築物の施設維持管理の適正化に取り組んでいるが、その現状は。
【公明党】

回答 橋梁等の長寿命化計画は既に策定しており、現在は市営駐車場等に係る計画を策定中である。また、建築物については、ファシリテイマネジメントを導入し、施設保有総量の最適化を図りつつ、長寿命化や施設情報の一元化等に取り組むこととしており、これらの取り組みを通じて建築物の一元的管理体制を整え、防災・減災の観点も考慮した施設保全を行う。

県の防災士育成支援事業も活用し、積極的な防災士の育成に努める

質問 防災士の活動は地域の防災力向上に極めて有効であるため、本市では、資格取得経費の補助を行っている。今後、資格取得者数を大幅に拡大するには、現在の予算額では不足すると考えるが、大幅増に向けた取り組みは。
【公明党】

回答 平成22年度から防災士養成講座受講者への補助を実施しており、現在までに55人が資格を取得している。今年度からは、県が制度化した防災士育成支援事業

も活用し、積極的な防災士の育成に努める。

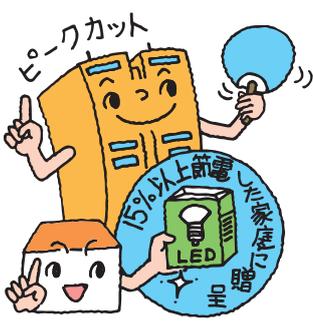


電力不足

大口需要者として積極的に節電に取り組む

質問 今年の夏は原子力発電所の停止による電力供給不足が見込まれ、市としても節電対策を実施し、市民生活や企業活動に支障が出ないよう最大限の策を講ずるべきだが、電力不足に対する今後の取り組みは。
【同志会】

回答 本市では、ピークカットを実施するなど、大口需要者として積極的に節電に取り組むほか、広報紙等での節電の周知啓発や、昨年より15%以上節電した家庭にLED電球等を贈呈する節電啓発事業を行い、市民に、より一層の節電への協力を呼びかける。



福祉

こども園でより質の高い教育・保育に取り組む

質問 塩江こども園が昨年4月に開園し、今年度は、香南など4地区でこども園が開園した。本市のこども園は幼稚園と保育所児を同じクラスに在籍させるので、集団活動ができるなどのメリットがあるが、開園によるこれまでの成果は。【同志会】



今年度開園した香南こども園

答 併 成果としては、園児数の増加で集団活動が活発になり、社会性が培われているほか、園庭が広くなった施設では、体力づくりが期待できることなどが挙げられる。

今後とも、こども園でより質の高い教育・保育が実施できるよう取り組む。

精神疾患を伴う身体合併症患者の入院病床設置を県に働きかける

質問 市民病院の移転に伴い、精神科の入院病床が閉鎖されるが、精神疾患を伴う身体合併症患者の入院病床をどう確保するのか、また、県知事とのトップ会談で取り上げる考えは。【市一市民】

答 併 自治体病院は、入院患者に対応する責務があるが、第一義的には法律で設置しなければならぬとされている県の責務が優先する。今後ともトップ会談に限らず、さまざまな機会をとらえ、同病床の設置を県に働きかけていく。

子供が貧困状態にある子育て家庭の実態とニーズを把握し、今後の施策に反映

質問 本市の子供たちの貧困と社会的排除の状況を調査し、市町村新システム事業計画（仮称）に反映するなど、今後

の施策に生かしていく考えは。【市一市民】

答 併 これまでも、こども未来計画などを策定する際は、市民等にアンケート調査を実施してきたが、今後、市町村新システム事業計画等を策定する際には、子供が貧困状態にある子育て家庭の実態とニーズを把握できるよう、現場職員への聞き取り調査も含め、その手法を検討し、今後の施策に反映させる。

給付・負担の両面で世代間の公平性を確保する社会保障制度の確立が必要

質問 国の社会保障給付費のうち高齢者が全体の約69%を占めているが、その財源の大部分は現役世代が負担している。社会保障の世代間格差を解消し、現役世代の負担を減らすべきと考えるが所見は。【市一市民】

答 併 社会保障全体を将来に向けて安定的に維持するためには、負担が特定の世代に過重とならないよう、給付・負担の両面で世代間の公平性を確保し、社会全体の連帯意識が持てるような社会保障制度の確立が必要と考える。

教育

学校・家庭・地域等が一体となって通学路の安全確保に努める

質問 全国で集団登校中の児童の列に自動車が出っ込む悲惨な事故が相次ぐ中、本市の小学校の通学路にも危険箇所が多数存在することがその後の調査で判明したが、通学路の交通安全対策にどう取り組むのか。【同志会・公明党】

答 併 相次ぐ児童の通学中の事故を受け、校長・副校長研修会等で通学路の点検の実施や、児童生徒への交通ルール遵守の指導を周知した。

これを受け、各小中学校では、交通事故を防止する学習の充実を図るとともに、PTAや地域と協力し、通学路の再点検を行い、交通安全施設の整備等が必要な箇所は、道路管理者などに要望したい。今後とも、子供の尊い命を守るため、学校・家庭・地域・警察等関係機関が一体となって、通学路の安全確保に努める。



小中連携教育
望ましい小中連携のあり方等について研究・実践

質問 今年4月、一宮設分離型の小中連携教育指定校に指定したが、施設一体型小中一貫教育校の高松第一学園の成果を踏まえた小中連携教育における今後の取り組みは。【公明党】

答 併 指定校では、小中間を見通した系統性のある学習指導・生徒指導を行うことなど、望ましい小中連携のあり方や、同学園における取り組みのうち、導入可能な指導内容等について、研究・実践を行う。今後、これらの取り組みの成果を検証し、小中連携教育の全市への拡充を図る。

一般質問

市政のさまざまな課題について、13人の議員が質問しました。

一般質問

マル経資金融資に対する利子補給制度創設の考え
井上孝志議員(同志会)

質問 高松商工会議所等では、小規模事業者に、無担保・無保証人で資金を貸し付けるマル経資金融資をあっせんしている。

中小企業者育成の観点から、同融資に対する利子補給制度を創設する考えは。



答弁 今年4月に高松商工会議所等から提出

【他の質問】合併浄化槽と緊急時の水道工事など

されている制度創設の要望の趣旨や、今後、中小企業基本条例(仮称)で定める予定の中小企業振興の理念などを踏まえ、制度創設に向け検討する。

【他の質問】交通安全対策・国民健康保険など

県の声かけ・見守り・居場所づくり事業を活用した市の取り組み
三好義光議員(補選組)

質問 地域のひとり暮らしの高齢者等がいつまでも元気に暮らすために、県が事業費を全額補助する、声かけ・見守り・居場所づくり事業を活用すべきと考えるが、本市の取り組みは。

答弁 この事業は、実施

主体の市から事業者に補助金を交付するもので、事業者は補助金交付期間終了後も、活動を継続していく必要がある。

このため今後、事業の効果性・効率性を十分検討し、自主的な運営ができる事業者の募集について検討する。



筆談・代読による伝達手段の周知を
中村伸一議員(公明党)

質問 聴覚や視覚に障がいがある方とのコミュニケーション支援である、筆談や代読は、多くの方が取り組みやすいので、そのような伝達手段があることを周知する考えは。



答弁 手話通訳や要約筆記などだけでなく、

筆談や代読は身近な情報伝達手段であるので、今後、市広報紙やホームページなどを通じて、市民への周知を図る。

【他の質問】コミュニティの再生・防災・減災など

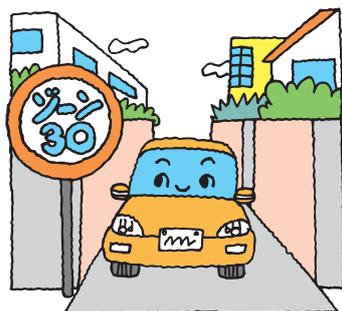
速度制限などの交通安全対策に関する要望調査の実施を
香川洋二議員(無所属)

質問 生活道路における歩行者の安全確保のため、地域全体を時速30kmに速度制限する「ゾーン30」の導入など、交通安全対策に関する要望調査を、全コミュニティ協議会を通じて行う考えは。

答弁 「ゾーン30」は、県警が導入準備を進めている。

本市では、生活道路の安全対策について、地域の意向等を踏まえた対策を講じており、改めて要望調査は行わないが、今後も、その意向の把握に努めるなど、適切に対応する。

【他の質問】レンタサイクル・空き家対策など



市民病院の看護師採用への取り組み
落合隆夫議員(同志会)

質問 手厚く質の高い看護の実現に向け導入した、7対1基準看護体制を維持するため、市民病院での今後の看護師採用への取り組みは。

答弁 看護師への応募者が少ないことに加え、毎年、早期退職者が出るなど、看護師の確保が困難な状況にある。

このため、今年度から看護師採用試験を病院局独自で実施したほか、合同就職説明会への参加や募集パンフレットの作成等に取り組みしており、今後とも、これらをより一層充実させる。

【他の質問▼減災のために・消防団の活動など】



農地・水保全管理支払交付金事業の成果

神内茂樹議員(同志会)

質問

地域で行う農業用水路・ため池等の草刈りや補修の活動などを支援する国の農地・水保全管理支払交付金事業は、農業用施設の保全管理の重要な役割を果たしているが、これまでの成果は。



【答弁】 同事業には、昨年度は26団体が取り組み、農業用施設の機能維持が図られているほか、非農家住民の参加により地域のつながりの強化等にも役立っている。

【他の質問▼道路行政・川の浸水対策など】

若年者雇用のミスマッチを解消する取り組み

大西 智議員(柿うんぬん)

質問

企業の求める人材と学生の意識に乖離がある、いわゆる若年者雇用のミスマッチを解消するための取り組みは。

【答弁】 新規学卒者や未就職者等を対象に、ハローワーク高松等と協力し、就活応援・適職相談を実施するとともに、高松商工会議所等と連携し、就職面接会を開催している。

【他の質問▼次世代育成支援対策】



小中学校の保護者に自転車ルールやヘルメット着用の大切さの啓発を

田井久留美議員(公明党)

質問

子供の自転車事故防止対策の一環として、小中学校の保護者に自転車ルールやヘルメット着用の大切さを啓発する考えは。



【答弁】 交通安全ヘルメット着用が、

児童生徒の尊い命を守ることから、今後、小中学校の保護者に交通安全教室への参加を促すほか、視聴覚教材等を活用してヘルメット着用の大切さについて啓発する。

【他の質問▼学校施設の非構造部材の耐震点検など】

中央駐車場から市役所までの通路にスロープ設置を

岡田まなみ議員(無所属)

質問

市役所北側立体駐車場がなくなり、中央駐車場を利用せざるを得なくなった高齢者などが、同駐車場から市役所までの階段の上り下りに苦労しているため、通路にスロープを設置する考えは。



【答弁】 スロープの設置は構造上難しいが、本庁舎においては、高齢者な

ど移動に配慮が必要な方の利便性向上について、専用駐車スペース増設の可能性等も含め検討する。

【他の質問▼消費税増税・国民健康保険など】

高松空港ビル内に、本市独自のPRブースを設置を

佐藤好邦議員(同志会)

質問

にぎわいのある空港にするために、本市の顔である高松空港の空港ビル内に、ご自慢品や特産品を販売する、本市独自のPRブースを設置する考えは。



【答弁】 開設場所や販売方式等の課題はあるが、空港の持つ情報発信機能を活用して、特産品等の販路拡大を図ることは極めて重要なので、今後、県や関係

団体等と連携しながら検討する。
 【他の質問▼桃川ダムを生かした塩江地域の活性化】
集会所の耐震化に対する助成制度を
 白石義人議員(同志会)

自治会集会所は発災時の一時避難所等に利用されるため、耐震化の必要があるが、自治会の負担軽減を念頭に置いた助成の考えは。

自治会集会所の新築、増築、改修等をする場合、高松市自治会集会所新築等補助規程に基づき、必要な経費の一部を助成しており、耐震化も、この補助制度の活用により対応が可能と考えている。
 今後、自治会集会所の状況把握等に努め、適切に



【答弁】

無利子就農支援資金制度等により助成するとともに、農業後継者クラブ育成事業を通じた技術指導や営農相談に努めている。
 また、国の「人・農地プラン」にある、青年就農給付金を有効活用し、農業後継者の育成・確保に努める。
 【他の質問▼震災想定見直しによる減災対策など】



【答弁】

営農を志す若者が、農業経営の研究を受け郷里に帰っても、自前の耕作面積等では農業の安定経営は難しいが、農業後継者の育成対策は。

農業後継者の育成対策
 川崎政信議員(同志会)



本市のスポーツ振興のみならず、地域産業の活性化にも効果が見込めるので、多くのランナーが参加しやすい、高松らしいマラソン大会の実施を目指したい。
 今後、交通規制に伴う市民生活への影響等、さまざまな課題について、関係者と調整を進める。
 【他の質問▼危機管理センター(仮称)等の建設など】

地域の活性化や本市のイメージアップにつながるので、高松市民マラソン(仮称)を開催する考えは。

高松市民マラソン(仮称)の開催を
 西岡章夫議員(同志会)

賛否が分かれた議案等審議結果一覧

今定例会では、審議の結果、議案等のうち7件について、採決に当たり次のとおり賛否が分かれました。賛否については、賛成の場合には○を、反対の場合は×を表示しております。

件名	議決結果等	同志会	市民74-7421	公明党	無所属		
					二川	香川	岡田
●市長提出議案							
平成24年度高松市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	×
高松市墓地公園条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	×
高松市スポーツ施設条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	×
工事請負契約について (高松市市民文化センター本館・別館等解体工事)	可決	○	○	○	○	○	×
工事請負契約について (塩江地区小中学校建設工事)	可決	○	○	○	○	○	×
工事請負契約について (塩江地区小中学校建設に伴う電気設備工事)	可決	○	○	○	○	○	×
工事請負契約について (塩江地区小中学校建設に伴う機械設備工事)	可決	○	○	○	○	○	×

※ 全議案等の審議結果については、市議会ホームページをご覧ください。

委員会のその他活動など

●所管事務調査

常任委員会が所管する事務の中でテーマを設け、議会の閉会中も継続して調査します。今定例会で決まった各委員会のテーマは、次のとおりです。

総務消防	(1)自主防災組織の充実強化について (2)地域コミュニティのあり方について
教育民生	地域包括支援センターの機能強化について
経済環境	創造性を生かした地場産業の振興について
建設水道	再生水の利用のあり方について

●特別委員会

特定の問題を審査・調査する会で、次のとおり開かれました。

新病院等整備	6月1日	市立病院の基本理念及び新病院実施設計(案)について説明を受け、協議しました。
総合防災対策	6月6日	危機管理センター(仮称)等基本構想原案について説明を受け、協議しました。

●調査会

重要な施策などについて、常任委員会ごとに説明を受ける会で、次のとおり開かれました。

経済環境	6月5日	西部地域文化施設(仮称)、創造支援センター(仮称)の運営管理
	6月21日	屋島陸上競技場再整備基本計画改訂版(案)策定
建設水道	6月21日	上下水道事業基本計画(上下水道ビジョン)素案
建設水道 総務消防(合同)	5月21日	市営住宅内樹木伐採等工事に関する疑義のある契約についての概要及び調査状況
教育民生 総務消防(合同)	6月5日	こども未来館(仮称)・平和記念館(仮称)・男女共同参画センター基本計画(案)、夜間急患センター(仮称)の整備

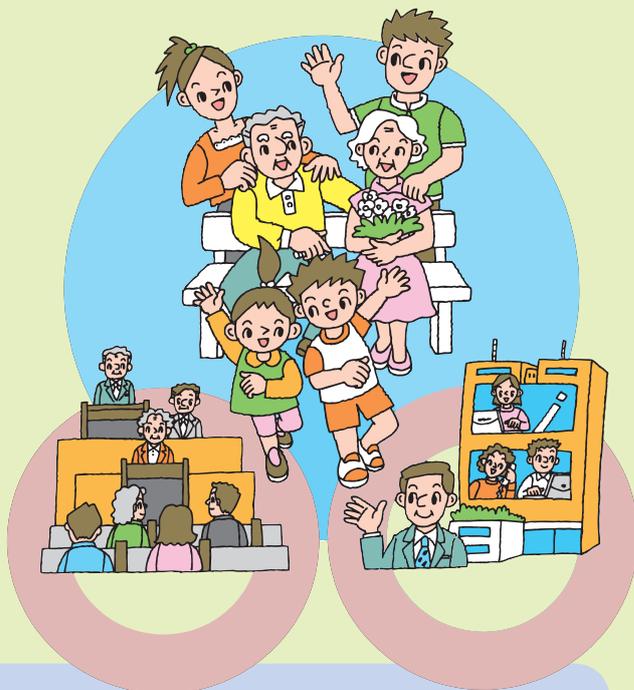
議会改善検討委員会

6月1日に開催して、今後の取り組み項目を協議した結果、今年度は、議会基本条例の調査研究及び総合計画基本構想の議決事件化について、協議することとしました。

人事案件

次のとおり選任に同意しました。

- 固定資産評価審査委員会委員
廣瀬秀人氏



市議会のしくみ

●市議会と市政

市議会は、市政を行うために必要な予算や条例などの重要事項について審議・決定し、市長は、議会の決定に沿って市政を運営しています。このような働きから、市議会は議決機関、市長は執行機関と呼ばれ、両者は、車の両輪にも例えられ、ともに市政の発展のために活動しています。

●議員

議員は、4年の任期で選挙によって選ばれます。本市議会の議員定数は、条例で40人としています。

●議長・副議長

議長と副議長は、議員の中から選挙で選ばれます。議長は、議会を代表し、議場の秩序を保ち、会議を順序よく進めるほか、議会の事務を統括します。副議長は、議長が病気のときや、公務出張などで不在のときに、議長のかわりをします。